

ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた

パネルを脱着する

CD(コンパクトディスク)

COMPACT DISC DIGITAL AUDIO のマークが付いているものをご使用ください。

持ちかた

ディスクのセンターホールと外周部分を持ちます。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



内側から外側へ拭く

回転する方向に拭かないでください。ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA、MP3、WMA以外のデータ(ビデオCDなど)は、再生できません。

CDレコーダー(CD-R/RWドライブ)で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

CDの保管について

長時間使用しないときは

必ず本機から取り出してください。ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

長時間直射日光のあたるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
暖房器具の熱が直接あたるところ
湿気やゴミ・ほこりの多いところ
腐食性のある外気にふれるところ
強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形 三角形 カード型

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、のりが付着している プリンターで作成したラベル



プロテクトフィルム、保護シート ディスクアクセサリ(スタビライザーなど)

破損・変形したディスク



そっている ひびやキズがある欠けている

粗雑なディスク



バリがある

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。

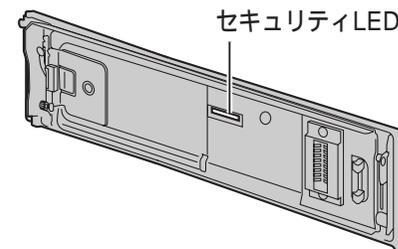
ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない

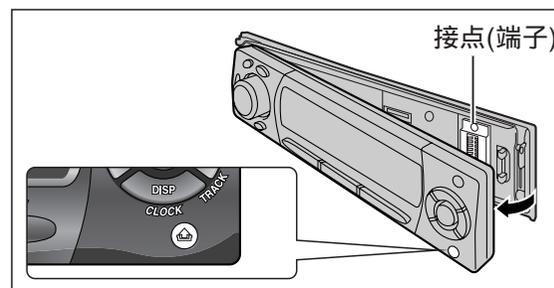
車から離れるときにパネルを取りはずすと、盗難防止に効果があります。(デタッチャブルフェイス)

パネルを取りはずしたままでは電源が入らず、操作できません。
パネルを取りはずすと、盗難防止用のセキュリティLEDが点滅します。(セキュリティ機能がONの場合 35ページ)



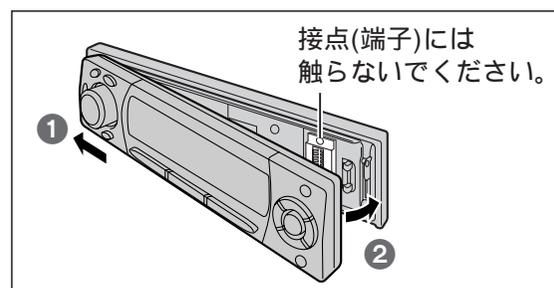
取りはずしかた

- 1 本機の電源を切る
- 2 電源ボタンを押す
- 3 パネルを手前に引く(クリック感があります。)



取り付けかた

- 1 パネルの左端を本体に差し込む
- 2 パネルの右側をはめ込む
カチッと音がするまで押し込んでください。



お願い

パネルが開いているときに電源ボタンを押すと、自動的に閉じます。また、パネルを傾けているとき(チルト)にパネルを取りはずすと、角度が自動的にTILT OFFに戻ります。そのときに、可動部に触れないでください。手や指をはさむ恐れがあります。また、パネルが動いているときに、取りはずさないでください。

本体とパネルの接点(端子)には触らないでください。電氣的な接触不良を起こす原因になります。汚れやゴミなどがついたときは、清潔な乾いた布で拭いてください。

取りはずしたパネルは

破損しないように乾いた柔らかい布で包むなどして保管してください。衝撃を与える、落とすなどしないでください。気温が上がるダッシュボードやその周辺に、置かないでください。故障の原因になりますので、水をかけたり、湿気の多いところに置かないでください。(パネルは防水されていません。)

ディスクの取り扱いについて・お手入れのしかた/パネルを脱着する

必要なときに